	イ　相互接続を行う場合は、接続先との間で設計・作業工程を明確にするとともに、その管理を行うこと。	◎	◎	◎	—	—
	ウ　工事中に発生する可能性がある事故等に対して、復旧手順をあらかじめ準備すること。	◎	◎	◎	○	—
	エ　工事終了後、各設備が想定した動作をしていることを確認すること。	◎	◎	◎	○	—
	オ　設備更改時に必要となる作業をあらかじめまとめておくこと。	◎	◎	◎	○	—
	カ　冗長構成をとる機器は、障害が発生した際に切替動作が確実に行われることを確認すること。	◎	◎	◎	○	○
⑸　維持・運用	ア　設備の動作状況を監視し、故障等を検知した場合は、必要に応じ、予備設備への切換え又は修理を行うこと。	◎	◎	◎	◎	◎
	イ　部外工事に係る情報や企画型ふくそうの原因となる情報等、情報通信ネットワークの健全な運用に必要な情報の収集のための措置を講ずること。	◎	◎	○	○	○
	ウ　保全・運用基準を設定するとともに、保全・運用に関する各種データの集計管理を行うこと。	◎	◎	◎	◎	◎
	エ　保全・運用作業の手順化を行い、手順書の作成を行うこと。	◎	◎	◎	◎	◎＊
	オ　経年劣化による自然故障が軽減するよう監視データの分析を行うこと。	◎＊	◎＊	◎＊	○	○
	カ　定期的に保守点検を実施すること。	◎	◎	◎＊	○	○
	キ　設備を設置する建築物及び空気調和設備の定期的な保全点検を実施すること。	◎	◎＊	◎＊	◎	◎
	ク　保守の委託を行う場合は、契約書等により保守作業の範囲及び責任の範囲を明確にすること。	◎	◎	◎	◎	◎
	ケ　保守の委託を行う場合は、作業手順を明確にするとともに、監督を行うこと。	◎	◎	◎	◎	◎
	コ　故障等における迅速な原因分析のための事業者と機器等の製造・販売等を行う者や業務委託先との連携体制を確立すること。	◎	◎	◎	◎	◎
	サ　業務委託先の選別の評価要件の設定を行うこと。	◎	◎	◎	◎	◎
	シ　通信の秘密の確保に関する取組を実施すること。	◎	◎	◎	◎	◎
	ス　復旧対策の手順化を行うこと。	◎	◎	◎	◎	◎
⑹　情報セキュリティ対策	ア　情報セキュリティに関する情報収集を行うこと。	◎	◎	◎	◎	◎
	イ　情報セキュリティ対策についてその手法及び事前確認を十分行うこと。	◎	◎	◎	◎	◎
	ウ　最新の情報セキュリティに関する技術情報や業界の動向を入手し、それらを情報セキュリティ対策に反映させること。	◎	◎	◎	◎	◎
	エ　コンピュータウィルス並びに端末及びソフトウェアの脆弱性に関する情報を入手したときは、必要に応じて、緊急連絡先に直ちに連絡すること。	◎	◎	◎	—	—
	オ　コンピュータウィルス並びに端末及びソフトウェアの脆弱性に関する情報を入手したときは、必要に応じて、自社内に対して速やかに周知するとともに、利用者に対してウェブサイトへの掲示、メールニュース等適切な方法により速やかに情報提供する等、被害の拡大を防止するための措置を講ずること。	◎	◎	◎	◎	◎
	カ　ネットワーク内の装置類やサービスの属性に応じて情報を分類すること。	◎	◎	◎	◎	◎